

文化事業（2012年）

折紙ワークショップ

1月30日（月）、スリランカ・ファウンデーション・インスティテュートにて折紙ワークショップが開催されました。ワークショップでは、日本折紙協会から派遣された折紙講師の田中稔憲氏、青柳祥子氏、山梨明子氏が折紙のデモンストレーションや、初心者にもわかりやすい折紙の指導を行いました。会場には、日本折紙協会の折紙講師とスリランカ折紙協会会員による折紙作品も展示され、多くの来場者がありました。翌31日には、スリランカ国営テレビ局にて折紙講師による折紙番組も収録されました。



デヤタ・キルラ（国内博覧会）への出展



2月4日（土）から10日（金）まで、アヌラダプラ近郊で開催された国内展覧会「デヤタ・キルラ」に日本文化を紹介するブースを出展しました。会場では、日本文化を紹介するパネルや五月人形の展示に加え、日本紹介DVDの放映を行いました。多くの来場者が日本ブースを訪れ、日本文化や日本への留学の方法などについて多くの質問も寄せられました。

文化事業（2012年）

日本語スピーチコンテスト

2月11日（土）、ササカワ・メモリアル・ホールにて日本語スピーチコンテストが開催されました。コンテストは3部門構成（A部門：渡日経験がない19才未満の者、B部門：渡日経験がない19才以上の者、C部門：渡日経験がある者）で予選を通過した各部門上位3名がスピーチを行いました。日本語の勉強方法をテーマにしたスピーチや、日本で経験した挨拶の大切さについて紹介するスピーチなど、完成度が高いスピーチに会場は大いに盛り上がりしました。なお、A部門とB部門の最優秀賞受賞者は3月に開催される南アジア日本語スピーチコンテストへ出場します。



世界青年の船のコロンボ寄港



2月16日（木）から19日（日）まで世界青年の船（内閣府主催事業）がコロンボに寄港しました。世界青年の船事業には日本、スリランカを含む、世界13カ国から263名青年が参加し、コロンボ到着後、コロンボ市内の教育機関でのセミナーや地方での交流活動に従事しました。世界青年の船のコロンボ寄港は17年ぶりであることに加え、今年は日本・スリランカ外交関係樹立60周年にあたることから、受入れ機関の青年問題・技術向上省は様々な交流行事を開催しました。最終日にはラージャパクサ大統領が船内を訪問し、参加青年と交流しました。

文化事業（2012年）

日本セミナー（歌舞伎・能）

2月26日（日）、ケラニア大学にて、歌舞伎や能、狂言について紹介する日本セミナーが開催されました。セミナーは日本帰国留学生の会（JAGAAS）が企画し、国費留学生として日本留学中に日本の伝統芸能について研究したパトリック・ラトナヤケ・ケラニア大学芸術学部教授が、Aレベル試験のために日本語を学ぶ学生を対象に、歌舞伎、能、狂言などの日本の伝統文化について講演を行いました。セミナーの冒頭には狂言「墨塗り」をスリランカ風にアレンジした創作狂言も上演されました。100名を超える学生が参加し、講師の説明に熱心に聞き入っていました。



震災復興写真展



3月15日（木）、16日（金）に、ゴール・タウンホールにて震災復興写真展が開催されました。写真展には、東日本大震災が発生する前、震災直後、復興しつつある現在、という時系列で、被災地の様子を紹介する写真や、東北地方の美しい風景、建築、文化財、観光地等を紹介する写真に加え、スリランカ災害管理省から派遣された緊急支援チームの活動の様子を紹介する写真など75枚の写真を展示しました。会場にはゴール地区の学生を中心に約500名が来場し、来場者からは日本の復興を応援する声が多く寄せられました。